



# Modern Dance

のびのび踊る子どもたちの輝き  
創作ダンスが個性を引き出す

**モ**ダンダンスは、クラシックバレエの型の束縛から解放された新しい感性と表現力が盛り込まれた、ダンスの様式です。ストーリー、振り付け、照明、衣裳のすべてに既製の概念にとられない斬新さがある、独創性と創作性の高いダンスといえます。

市川市でモダンダンスの教室を30年以上にわたって展開してきた稲毛佳世子先生のカヨダンスアカデミーには、「踊るのが大好き」な子どもたちが元気に集います。自由な発想で自分を打ち出そうとする一人一人の子どもの個性に合わせて、独自の持ち味を上手引き出しています。

レッスンは自由に踊ることができ、体づくりを中心に進められています。子どもたちの理解力は早く、基本の動きの中にやりたいことの自由意思を取り込むことで、自分なりのイメージを



日々のレッスンの成果は、1年半に1度行われる大きな舞台での発表会でお披露目。衣裳もあつらえ、最高のスポットライトを浴びる。



「昔は踊ること自体に慣れていない子が多かったのですが、最近の子どもたちは、『自由に動いてごらん』というと喜んで踊りだすんですよ」と稲毛佳世子先生。

創り出しているのびのびとレッスンに励んでいます。経験の差や年齢の違い、性別を越えて同じステージで踊れることがチームワークを生み出しています。

「まだ始めたばかりだけれど、とても楽しい」とは、かむ子どもも、音楽が響くと瞳が輝き、スタジオが狭く感じるほど弾けています。



華やかに、軽やかに踊る若々しさの秘密は、背筋をピンと伸ばす社交ダンスの基本姿勢にあった!



美容のため、健康のため  
社交ダンスは  
むしろスポーツ

# Social dance

**市**川市スポーツダンス協会は社交ダンス講習会&パーティーを年に数回開催しています。華やかなステップで踊る姿は、とてもダンスを始めて間もない人や、初心者もいるとは思えません。

「男性には周りとおつからない足運びや、女性を上手にリードするコツを、女性には楽しく踊る、心得を教えています。主役は皆さんです」と講習会で指導を

する小松健治さん。

社交ダンスの動きは大変激しく、30分で汗が噴き出します。その上優雅な身体の動きでリズムに乗り、洗練されたスタイルと正しいステップで踊るには、爪先まで全身に神経を集中させていなければならない。

美しく優雅に踊ることが、健康で生き生きと輝く元気の源。ストレッチもどこかに吹き飛んでしまいます。

## 夏

夜の風物詩「盆踊り」——。開山700年余りを誇る中山の大本山法華経寺境内にも、毎年8月に盆踊りのやぐらが建ち、子どもや家族連れで賑わいます。

この夏は例年の盆踊りとは違って、特別な熱気がこもっていました。いつの間にか姿を消してしまっただご当地盆踊りの定番「中山音頭」が50年ぶりによみがえり、初お目見得となるからです。風化する前にもう一度踊りたい、さらに地元活性化に役立たせたいと、中山町会の有志が立ち上がり、復活に奔走した3年にわたる熱い思いが、ついに実りました。



大太鼓のリズムが響く中山法華経寺の境内で、徐々に広がる人の輪。やぐらの周りをゆっくりと踊る。

地域活性化の夢乗せて  
50年ぶりに甦る  
新「中山音頭」



子どもも思わず踊りだす。

現代的な3拍子の音頭に比べ、新中山音頭は昔ながらの4拍子。簡素だけれいな振り付けは、ゆったりゆったりと、何回でも疲れずに踊ることが出来ます。真夏の夜に熱き思いを込めて、中山音頭で、ひっそりわくわく

# Bon Odori